

常山 知子議員の三月議会

一般質問から

① 町道の除雪について

(質問) 一月の積雪で、同じ町道であり生活道なのに除雪されない、自分達でいつまで除雪ができるのかわからないなど不安の声をきいています。

① 積雪10cm以上の場合、町道19路線の除雪を開始するとなっていますが、どの路線が対象なのか「路線マップ」を作成し、また、他の路線についてどう町民の要望に添えていくのか。

② 除雪委託業者12社、協力社2社以外にも除雪機を所有している会社、個人への協力要請について。

③ 雪の捨て場について、いっぺんの空き地を雪の捨て場として利用できるよう地権者と交渉し候補地を確保するようについて。

(答弁) ① について 「除雪マップ」の作成・周知について、これから研究してまいります。どう町民の要望に添えていくかは、行政区域長からの要望・聞き取り・現地確認をもとに地域の状況を把握し引き続き対応してまいります。② について 今年度、除雪に地域を指定しない業者から社からの社に増えた。来年度以降も登録者を増やしたい。

③ について 雪捨て場は、親母子センター跡地や町有地を考えています。600㎡以下の積雪でも、その

必要がある時は県土木事務所とも相談し河川敷等も利用できるよう考えています。

子ども医療費の高校卒業

までの無料化について

(質問) 高卒までの医療費の無料化は、当町の場合、約240万円です。子育て支援の町として高卒までの医療費の無料化を実施する考えは。

(答弁) 高卒までの医療費の無料化を進めていきたい。実施については1市4町と歩調を合わせるのが理想。医師会等と協議調整を考えていきます。

国保税の負担軽減について

(質問) 国保税の滞納が増えていますが、滞納者をつくらない様々な手立てをとり、町民に寄り添った対応が求められます。

① 収入が減ったとき、減免制度があることを町民に知らせていくことが必要です。その考えは。
② 国は平成27年度から、低所得者対策として支援制度の拡充を実施。

法定減額(6割・4割)対象者の人数に

応じて、当町には約380万円の財政支援がされています。これを国保税の引き下げに使うよう求めます。その考えは。

(答弁) ① について 所得100万円未満の滞納が増える傾向にあり、H26年166世帯 H27年に2005世帯の滞納です。新たな滞納をつくらないため早い段階から文書による通知を行ない、減免制度の周知についても、H22年から公報紙に掲載しています。

② については国保のきびしい財政状況の中、国保税を引き下げることは困難です。

2015年度(H27) 一般会計補正予算

(歳入)

年金生活者等支援臨時

福祉給付金国庫補助金 4026万円

地方創生加速化交付金(国庫補助金) 2920万円

(歳出)

*みなこのハートイベント事業委託料 2470万円

子育て世帯定住促進奨励補助金 620万円

*切干し芋特産品プロジェクト事業 450万円

除雪事業委託料 291万円

*年金生活者等支援臨時福祉給付金 3630万円

(65歳以上の非課税者対象一人3万円)

*印についてはH28年度に繰越して行なう事業です

2016年度(H28年度) 一般会計予算

歳入・歳出 39億6000万円(前年比0.05%減)

(歳入の特徴)

町税	4億5937万円
(個人)	3億8226万円(1076万円減)
(法人)	7711万円(206万円減)
固定資産税	4億9706万円
地方交付税	13億8970万円

(歳出の特徴)

学童保育所保護者負担金(6千円)の無料化	1087万円
子育て世帯定住促進奨励補助金	2000万円
糖尿病早期発見事業	82万円
老人福祉センター長生荘改修事業	3434万円
にぎわい創出事業補助金	200万円
有害鳥獣対策事業	174万円
道路・橋りょう整備事業	2億4708万円
消防団第2分団詰所建設工事	
第2分団及び第1分団第1部車両更新	7493万円
グローバル教育への取組(多様な英語教育)	446万円
文化・芸術体験事業	260万円

2016年度(H28)

国民健康保険特別会計予算	14億4780万円
介護保険特別会計予算	10億1400万円
後期高齢者医療特別会計予算	1億2224万円